

タイ証 長谷部先生
桜ヶ丘キリスト教会
郷枝実姉

空港に迎えに来てくれた時からチェンライの宣教視察までずっと一緒にいてくださった。
何もかも目新しいタイ到着の瞬間から私たちをリードし、宣教活動を見させていただく
だけでなくガイドのようにいろいろなことを教えてくださった。

父のように

牧師としての姿。チェンマイの地で生活する日本人たちの伝道のために労苦を惜しまず働
き、教会を牧する姿。

祈りが力強い。優しい柔らかな声が一変して、「主よ」と力強く、確信に満ち溢れた祈りを
ささげる先生。

母のように

刑務所伝道の忍耐と愛。刑務所に入っている二人の日本人のために毎週必ず往復 2 時間か
けて出向く。なかなか手ごたえがなくても、嘘をつかれていた、利用されているとわかっ
てもあきらめず、彼らをもっとよく知ろう、友となろう、そして御言葉を伝えようと、献
身的にかかわり続けていく姿は、無条件の母の愛。イエス様の愛。

子のように

私たちとの接し方がフランクで、自分の失敗談や笑い話をたくさん交えながらタイのこ
とをたくさん教えてくださり、弱さの中に神さまが大きく働いてくださっていることなども
話してくださり、「私、全然宣教師っぽくないんですよ」と笑って言うような、常に謙遜な
先生だった。